

125. 空気予熱器と集じん装置

空気予熱器: 煙道ガスの余熱を利用して、燃焼用空気を加熱する装置

└ 再生式: 伝熱体に熱ガスと空気を交互に接触させる事によって熱交換を行う

└ 管形: 管の壁を介して燃焼ガスと空気の間で熱交換を行う

└ 板形: 多数の平板を一定の間に並べ、燃焼ガスと空気を板で隔てて層状に流して、熱交換を行う

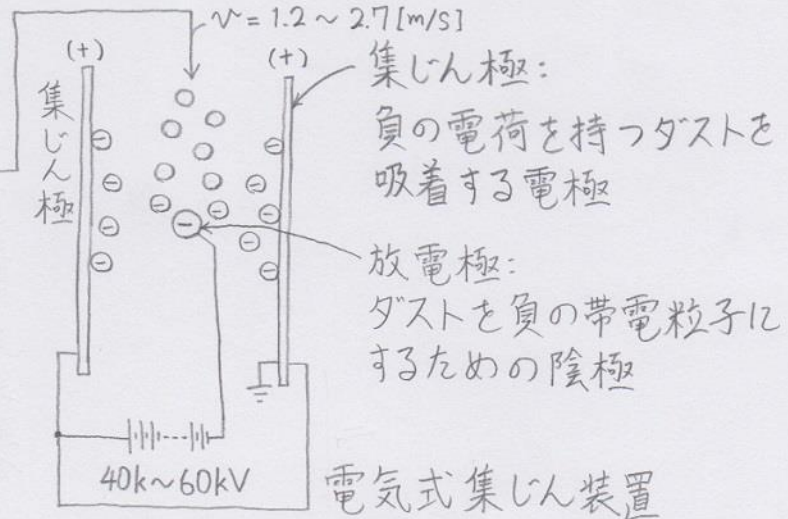
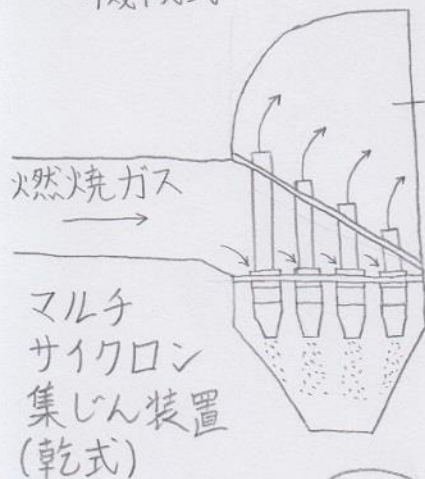
集じん装置: 煙道ガスに含まれる多くのばいじんを除去する装置

└ 湿式: ばいじんを含んだガスまたは分離したダストと水を接触させ、湿潤状態でダストを捕集する(多量の水を必要とする)

└ 乾式: 水を用いない

大きな通風損失を伴うものは、動力費が高くなる

└ 電気式
└ 機械式



・ガス中のダストは負の電荷を帯びて集じん極に吸着される

・マルチサイクロンよりもさらに細かい粒子を吸着できる



以前は乾式のマルチサイクロンと電気式とを組み合わせて用いていたが、最近では電気式の単独設置が主流

